

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-102178

(43)公開日 平成8年(1996)4月16日

(51)Int.Cl.⁶

G 1 1 B 33/02

識別記号

5 0 1 B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平6-259667

(22)出願日

平成6年(1994)9月30日

(71)出願人 000003595

株式会社ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号

(72)発明者 鈴木 隆文

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 株式

会社ケンウッド内

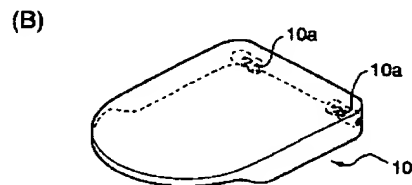
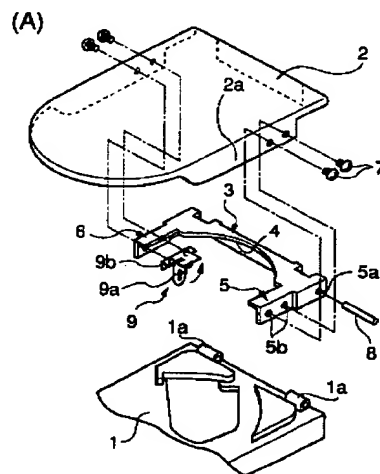
(74)代理人 弁理士 垣内 勇

(54)【発明の名称】 C D プレーヤのカバー取付構造

(57)【要約】

【目的】機器本体の1つのケース部を共用して樹脂製のカバーと金属製のカバーを選択的に取り付けることができるC D プレーヤのカバー取付構造を提供することにある。

【構成】ポータブルC D プレーヤの機器本体のケース部1にヒンジ部を介して樹脂製のカバー10と金属製のカバー2とを選択的に取り付けるための機構であって、金属製のカバー2には上記ケース部1に設けられている一方のヒンジ部1aに対応する他方のヒンジ部3aを形成した樹脂製のホルダー3を取り付けて該ホルダー3を介して取り付けるように構成したものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ポータブルCDプレーヤーの機器本体のケース部にヒンジ部を介して樹脂製のカバーと金属製のカバーとを選択的に取り付けるための機構であって、金属製のカバーには上記ケース部に設けられている一方のヒンジ部に対応する他方のヒンジ部を形成した樹脂製のホルダーを取り付けて該ホルダーを介して取り付けるように構成したことを特徴とするCDプレーヤーのカバー取付構造。

【請求項2】 ホルダーにはディスクに対応する弧状部が設けられていることを特徴とする請求項1記載のCDプレーヤーのカバー取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、CDプレーヤーのカバー取付構造に係り、特に樹脂製のカバーと金属製のカバーとを選択的に取り付ける場合に適するカバー取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】ポータブルCDプレーヤーのディスク載置面を覆うためのカバーは機器本体のケース部にヒンジ部を介して開閉自在に取り付けられており、従来は、高級機種にはアルミ製のカバーが使用され、低価格機種には樹脂製のカバー（モールドカバー）が使用されている。

【0003】この場合、樹脂製のカバーにおいては成形の容易性から、上記ケース部に形成されている一方のヒンジ部に対応する他方のヒンジ部を樹脂カバーに直接形成しているが、アルミ製のカバーの場合には、図3に示すように、ケース部11に形成した一方のヒンジ部11aに対応する他方のヒンジ部13aを設けた板金製のホルダー13をアルミ製のカバー12の内面側に取り付けて、該ホルダー13を介してケース部11に取り付けている。図において、14はヒンジ軸であって、上記一方のヒンジ部11a、カバー12に形成した軸孔12a及び他方のヒンジ部13aを介して挿入され、これによってカバー12が開閉自在に取り付けられている。12bは上記他方のヒンジ部13aが嵌合するようにカバー12に形成された凹部である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが、図3に示すような板金製のホルダー13を使用する形式では樹脂製のカバーを取り付ける場合はケース部11を共用するような構造をとることができなかった。

【0005】本発明の目的は、機器本体の1つのケース部を共用して樹脂製のカバーと金属製のカバーを選択的に取り付けることができるCDプレーヤーのカバー取付構造を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のCDプレーヤーの

カバー取付構造は、機器本体のケース部にヒンジ部を介して樹脂製のカバーと金属製のカバーとを選択的に取り付けるための機構であって、金属製のカバーには上記ケース部に設けられている一方のヒンジ部に対応する他方のヒンジ部を形成した樹脂製のホルダーを取り付けて該ホルダーを介して取り付けるように構成したものである。このホルダーにはディスクに対応する弧状部を設けることができる。

【0007】

【作用】ホルダーは樹脂成形され、ケース部に設けられている一方のヒンジ部に対応する他方のヒンジ部とカバーへの取付部が設けられており、この取付部を金属製のカバーの取付面にネジ止め等により取り付ける。このカバーを機器本体のケース部に取り付けるに際しては、上記ケース部に設けられている一方のヒンジ部とホルダーに設けられている他方のヒンジ部とを合致させた状態でホルダーの外側面に形成した軸孔から上記他方のヒンジ部及び一方のヒンジ部にヒンジ軸を挿入して取り付ける。

【0008】なお、樹脂製のカバーを取り付ける場合は、従来と同様にケース部の一方のヒンジ部と樹脂カバーの他方のヒンジ部を合致させた状態でカバーの外側面の軸孔からヒンジ軸を挿入して取り付けるものである。

【0009】上記のような構成とすることにより、樹脂製のカバーにしか組み合わせることができなかったケース部に金属製のカバーをも取り付けることができ、ケース部を共用することができる。

【0010】

【実施例】図1は本発明に係るCDプレーヤーのカバー取付構造の実施例を示す斜視図であり、(A)は各部材の分解斜視図、(B)は樹脂製カバーの斜視図である。図2はホルダーを裏面側から見た斜視図であり、(A)はホルダーの一方の側の隅角部を示す要部の斜視図、(B)は他方の側の隅角部を示す要部の斜視図である。

図において、1はポータブルCDプレーヤーの機器本体のケース部であり、図1(B)に示すような樹脂製カバー10を取り付けるための形状に成形されており、この樹脂製カバー10を開閉自在とするための一方のヒンジ部1aが設けられていて、樹脂製カバー10に設けられている他方のヒンジ部10aを合致させた状態でヒンジ軸（図示しない）を挿入して取り付けるようになっている。

【0011】2は金属製（アルミ製）のカバーであって、機種により上記樹脂製カバー10に代えて取り付けられるものであり、上記樹脂製カバー10と略同様に前円後方の外形形状をなしている。3は上記金属製のカバー2に取り付けられる樹脂製のホルダーであって、上記ケース部1の一方のヒンジ部1aに対応する他方のヒンジ部3aが形成されており、このホルダー3を上記金属製のカバー1の後部裏面側に取り付け、該ホルダー3を

介してケース部1に開閉自在に取り付けるようにしたものである。

【0012】上記ホルダー3は平面略「コ」字形をなしてその凹部にディスクに対応する弧状部4が形成されており、両側部には上記カバー2の取付面2aに対応する取付部5、6が設けられている。この取付部5、6は断面略「L」字形をなして外側面には上記ヒンジ部3aに貫通する軸穴5aが形成され、更に、上記金属製のカバー2の両側縁に設けられている取付面2aとネジ7でネジ止めするためのネジ穴5bが形成されている。

【0013】また、この取付部の内側面は図2において左右で異ならせてあり、一方の取付部5の内側面にだけネジ穴5bのボス5cを形成すると共に他方の取付部6の内側面にはこれを形成しないで、この部分にカバー2を機器本体から開く方向にバネ9cの弾発力を与えるカバー開閉用のアーム部材9を共締めするように構成してある。このアーム部材9は、取付部6に共締めされる共締め部9bにアーム9aが軸支され、かつ、図1において矢示方向にバネ9cの弾発力が働くように付勢されている。なお、図2において2bはホルダー3をカバー2の後縁部に位置決めすると共に仮固定するためのフック部である。

【0014】金属製のカバー2の取り付け際には、ホルダー3を一方の側の取付部5を介して金属製のカバー2にネジ止めし、他方の側の取付部6に延びてきているアーム部材9とカバー2の取付面2aとを該取付部6に共締めして、ケース部1のヒンジ部1aとホルダー3のヒンジ部3aとを合致させた状態で両側面からヒンジ軸8を差し込んで連結することにより金属製のカバー2を

ケース部1に回転自在に取り付けることができる。

【0015】従って、従来は樹脂製カバーにしか組み合わせることができなかったケース部を金属製のカバーにも共用することができる。また、上記ホルダー3は平面略「コ」字形をなしてその凹部にディスクに対応する弧状部5が形成されているからディスクとホルダーと

のクリアランスを確保することができ、耐震性に優れたものとなる。。

【0016】

【発明の効果】本発明によれば、樹脂製カバーにしか組み込むことができなかった機器本体のケース部を金属製のカバーの組み込みにも共用することができ、従来のものよりも経済性に優れている。また、金属製のカバーの構造が簡略化されるため、金属製のカバーの金型代が安価になる。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るCDプレーヤーのカバー取付装置の実施例を示し、(A)は分解斜視図、(B)は樹脂製カバーを示す斜視図。

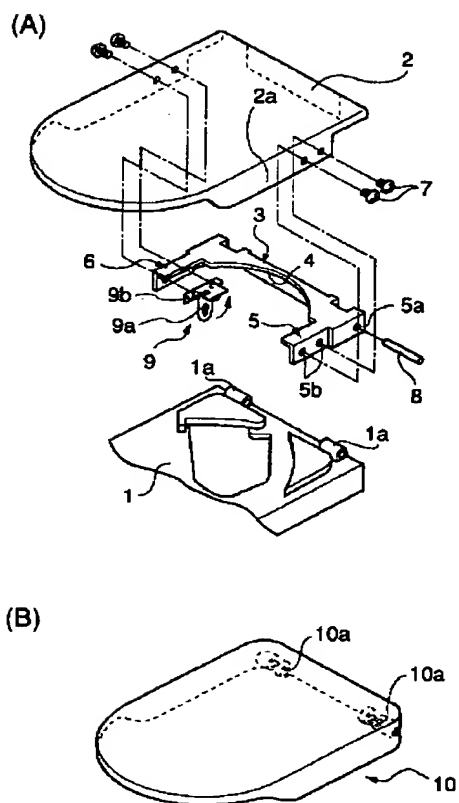
【図2】ホルダーを裏面側から見た斜視図であり、(A)はホルダーの一方の側の隅角部を示す要部の斜視図、(B)は他方の側の隅角部を示す要部の斜視図。

【図3】従来の金属製カバーの取付構造を示す要部の斜視図。

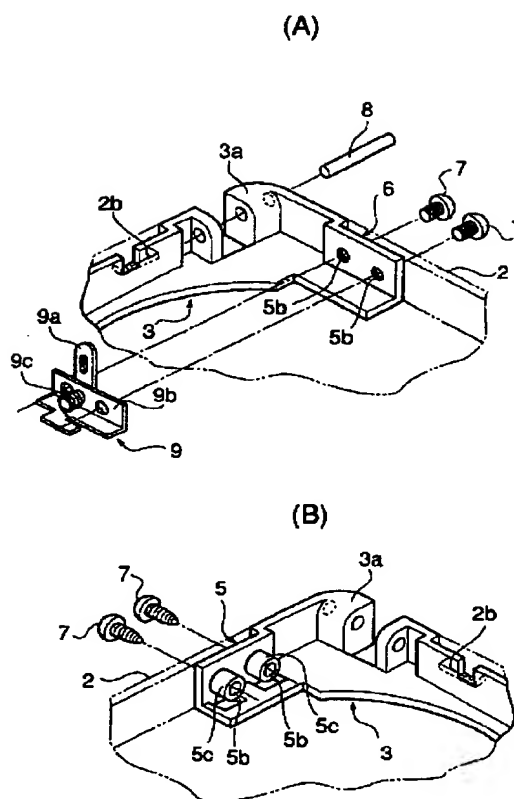
【符号の説明】

- | | | |
|----|-----|-------------|
| 20 | 1 | ケース部 |
| | 1a | 一方のヒンジ部 |
| | 2 | 金属製のカバー |
| | 2a | 取付面 |
| | 3 | ホルダー |
| | 3a | 他方のヒンジ部 |
| | 4 | 弧状部 |
| | 5 | 一方の取付部 |
| | 5a | 軸穴 |
| | 5b | ネジ穴 |
| 30 | 5c | ボス |
| | 6 | 他方の取付部 |
| | 7 | ネジ |
| | 8 | ヒンジ軸 |
| | 9 | アーム材 |
| | 10 | 樹脂製カバー |
| | 10a | 樹脂製カバーのヒンジ部 |

【図1】



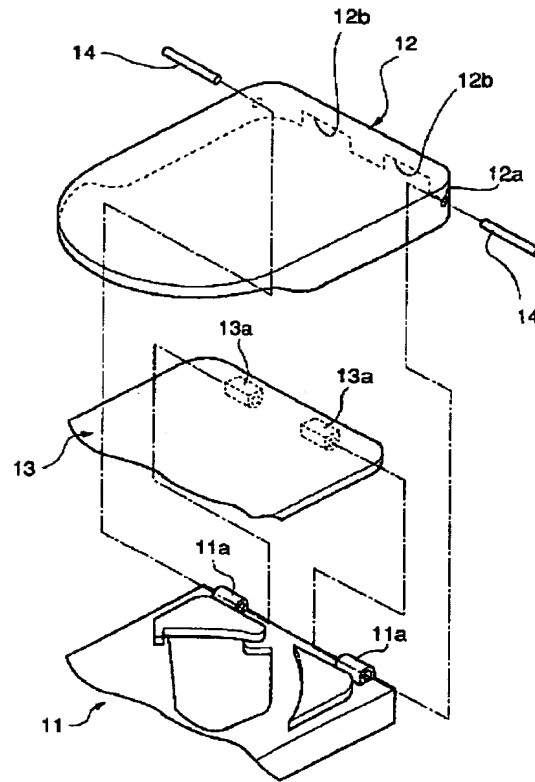
【図2】



(5)

特開平8-102178

【図3】



THIS PAGE BLANK (USPTO)